

普及活動情勢報告（平成29年 1月分）

幼木の年越し！冬場の厳寒期対策 ～ユズの幼木における防寒対策講習会を開催～



熱心に聴く生産者

12月26日、JA津野山と連携してユズの幼木防寒対策講習会を梶原町及び津野町の新植園において実施し、延べ5人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は防寒対策の方法を説明し、JAは防寒対策の実演を行いました。

参加者からは「稲ワラの代用として茅は使えるのか」や「防寒対策の時期はいつなのか」といった質問が出され、講習会の目的である幼木の防寒方法（使用資材含む）及び実施時期が理解されました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携したユズの講習会を適期に開催し、高品質・安定生産に努めていきます。

集落営農先進地視察研修（中土佐町）を開催 ～組織のステップアップを目指して～



12月17日、中土佐町では集落営農先進地視察研修を開催し、集落営農組織の代表者等7名が参加して、香川県まんのう町の2組織で研修を行いました。農業改良普及課は、事前に情報提供し開催に際してバックアップしていました。

参加者は、それぞれ特徴のある2組織でこれまでの経緯等の話を聞きながら、集落営農に対する知見を深めていました。

農業改良普及課は、今後も農地を守りそれぞれの集落を活性化していくために集落営農の組織化・法人化を進めていきます。

天敵を活用して害虫から野菜を守る～リモニカスカブリダニを放飼～



リモニカスカブリダニを放飼する普及指導員

1月6日に須崎市内ピーマンほ場にて、農家と普及指導員らで、捕食性天敵リモニカスカブリダニを放飼しました。

「定着するといいね。」と農家は期待の様子でした。

リモニカスカブリダニはスワルスキーカブリダニと比べ、寒さに強い、比較的大型のアザミウマ幼虫を捕食する、増殖速度が速いという特性を持っており、スワルスキーカブリダニでは防除が困難な害虫の捕食が期待されます。

農業改良普及課では、リモニカスカブリダニによるアザミウマ類、コナジラミ類の防除効果を調べ、野菜の安定生産のために、よりよい天敵利用法を普及していきます。